

2016年9月期 決算説明会資料

株式会社キャリア
(証券コード：6198)

平成28年11月28日



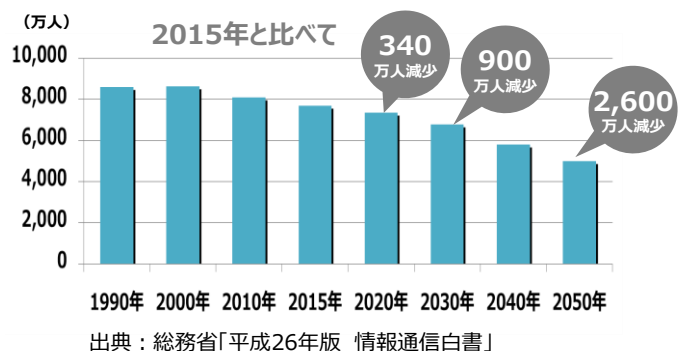
目次

1. 会社概要
2. サービス概要
3. 決算概要
4. 業績予想
5. 当期の施策
6. 株主還元

1. 会社概要

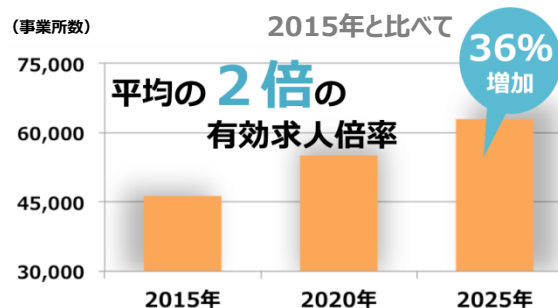
日本はますます高齡化社会が進行し、こと人材市場においては、**労働人口の減少、介護市場での人手不足**は大きな課題となっております。

深刻な労働力の減少



2020年までに340万人の減少。
その後勢いは**さらに加速**していくと予想されております。

介護市場の人手不足



介護施設の増加が続いている。さらに施設では**採用難**が続いており、この状況は続くものと予想されております。



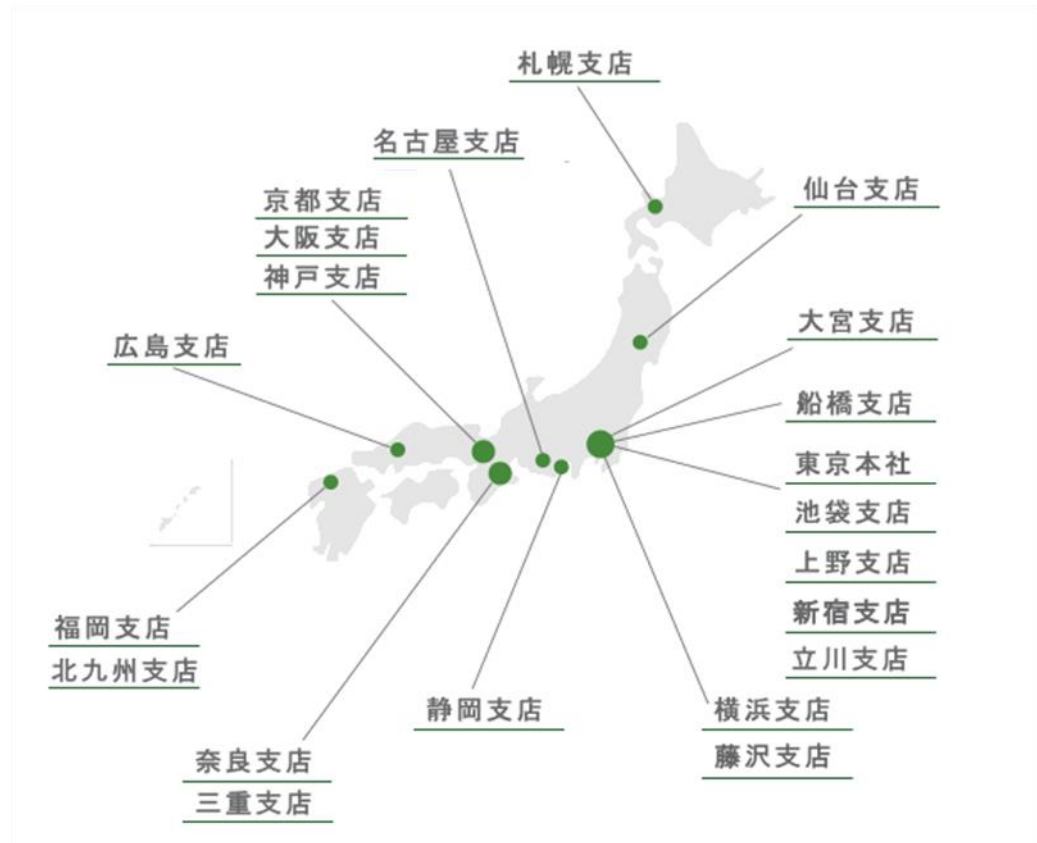
CAREERは、この2つの課題に人材サービスで応える
高齡化社会型人材サービス企業です

1. 会社概要

会社名	株式会社キャリア／CAREER CO., LTD.	
設立	2009年4月28日	
資本金	154百万円	
本店所在地	東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル	
役員	取締役会長	川嶋 一郎
	代表取締役社長	溝部 正太
	取締役	蒲原 翔太
	取締役	高見澤 幸治
	取締役	中川 光一郎
	取締役（社外）	谷間 真
	取締役（社外）	竹澤 大格
	監査役	吉村 精治
	監査役（社外）	谷口 誠治
	監査役（社外）	田中 奉文
取得免許	人材派遣免許	: 派 13-304437
	人材紹介免許	: 13-ユ-304348
	Pマーク	: 第17000661 (03) 号
	I S O 9001	: 2952264
本支店 事務センター	本社	札幌支店 仙台支店
	大宮支店	船橋支店 池袋支店
	上野支店	新宿支店 立川支店
	横浜支店	藤沢支店 静岡支店
	名古屋支店	奈良支店 三重支店
	京都支店	大阪支店 神戸支店
	広島支店	福岡支店 北九州支店
	高知事務センター	

企業理念

高齢化社会のなかで、すべての人々が仕事を通じて社会に貢献し、生きがいを見つけることのできる世の中の実現を目指します。



設立 **8年**で全国**21拠点**へ拡大と**急成長**しています

(2016年9月30日現在 ※高知事務センターは除く)

2. サービス概要



期待されるシニア人材市場

労働人口の減少×高齢化

労働人口は、2015年と比べて2020年までに340万人、2030年までに900万人減少し、人口の1/3が65歳以上になると予測されております。

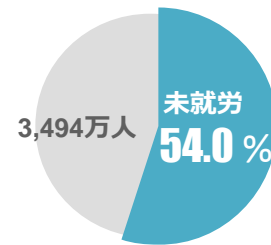
期待されるシニア就労

シニア（55～75歳）の未就労率は54.0%（1,886万人）。女性（15～64歳）の未就労率34.0%（1,314万人）と比較しても高く、次世代の労働力として期待されており、国の施策に多く盛り込まれております。

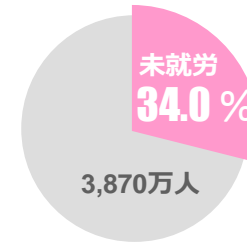
- 一億総活躍社会
- 高齢者雇用安定法
- 社会保障費削減
- 継続雇用制度
- 特定求職者助成金
- 定年引上げ
- 生きがい就労事業
- Etc...

シニアの高い就労意欲

各世代のシニアは高い就労意欲をもち、就労を希望している現状があります。



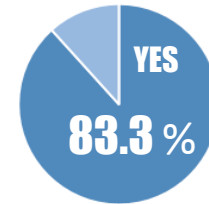
シニア（55～75歳）



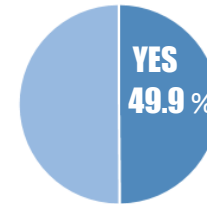
女性（15～64歳）

出典：総務省統計局「平成26年 労働力調査年報」

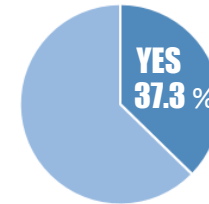
これから先も働きたいですか？



60代



70代



80代

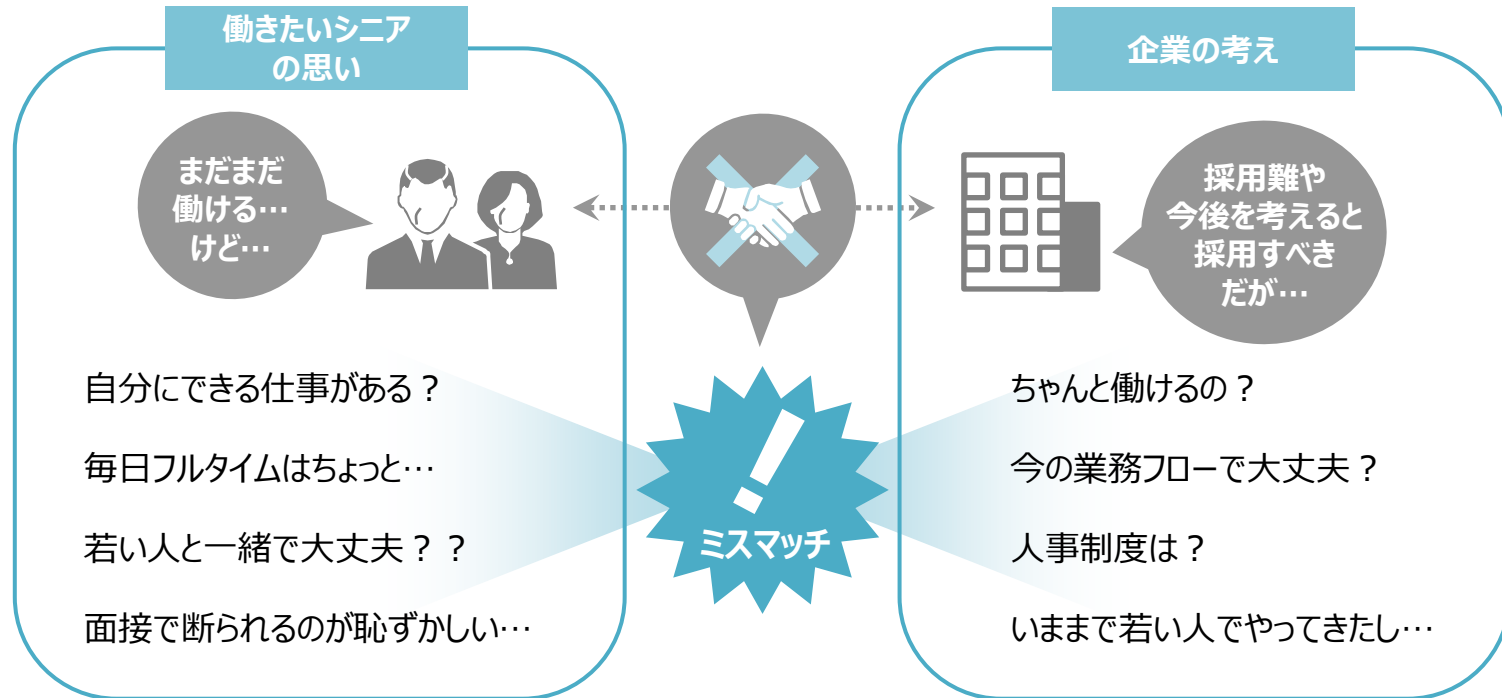
出典：内閣府「平成25年度 高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」

シニア人材の活用は日本の労働人口の減少問題を解決し、シニア世代も就労を望んでいます

2. サービス概要



しかしながら…企業の受け入れはまだ進みきらず
働きたいシニアとの**ミスマッチ**の解消が課題となっています



**CAREERは、創業以来
働きたいシニアと企業のミスマッチを解消し、
業績を伸ばして参りました**

2. サービス概要



当社の多彩な実績を背景に
シニアの特性、企業の業務フローを理解した
シニア活用コンサルタントがこのミスマッチを解消



シニア活用コンサルタント

シニア就労に抵抗のあるクライアントの現場を業務分析し、
シニアを活用する事でメリットが得られるような業務フローの改善提案を行う

このミスマッチの解消を行なう事で、クライアントにシニア活用の
メリットを感じて頂き、当社は業績を伸ばしております

※全てのクライアントに業務分析を行なっているわけではありません。

2. サービス概要



高齢化社会のもう一つの課題 介護市場への人材提供

増え続ける介護施設

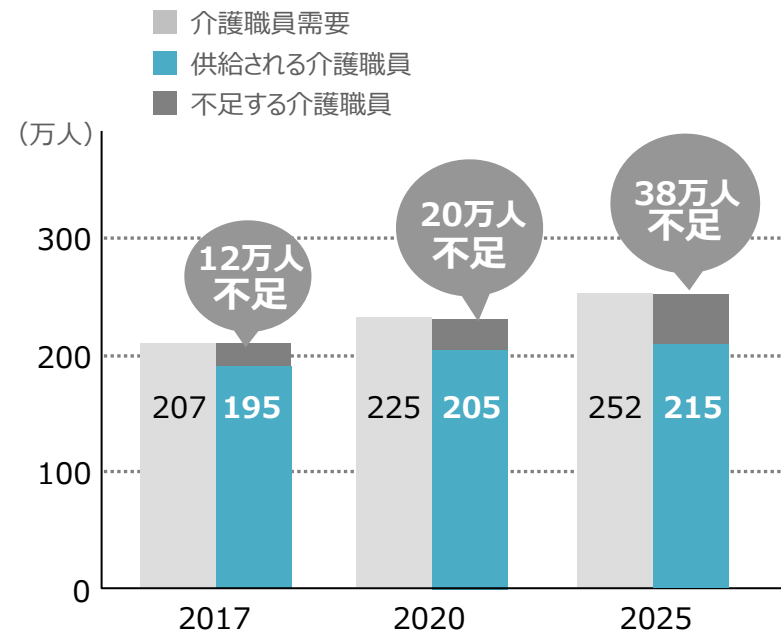
要介護者の増加に伴い、介護施設が毎年のように増加しています。それでも、実際の需要には追いつかず、入所できない要介護者が増えており、今後さらに介護施設の増加が期待されます。

加速度的に不足する介護職員

もともと有効求人倍率の高い介護職員ですが、年々増える介護施設の需要に追いつかず、介護施設における人手不足は加速度的に厳しくなり、当社のような人材サービスの必要性が高まっております。

叫ばれる2025年問題

「2025年問題」とは、団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）に達する事により、介護、医療等の社会保障の急増が懸念される問題です。現段階でも高まる介護施設への人材サービスの必要性が今後さらに高まってゆくと考えられております。



出典：厚生労働省「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計(確定値)について」

介護施設向けの人材サービスの需要は大きく
今後さらに拡大の一途をたどることが予想されます

2. サービス概要



CAREERでは潜在看護師、潜在介護士の市場開拓に成功 介護施設の採用難を解消しています

71万人の未就労看護職員



出産、転職等で空白が...
結婚等でパートで働きたい...

4万6千戸の介護施設



働きやすい現場
短期間、パートでも働ける

医療施設は、労働が過酷であり離職率が高いと言われております。看護職員の中には、貴重な資格を現場で活かしていない方も多く、実に71万人の未就労看護職員（出典：厚生労働省「第33回社会保障審議会医療部会」）がおります。

看 介

1 : 3~5

大きな介護士マーケット

平均的な介護施設では、看護職員1名に対し介護士は3~5倍の人数を必要とし、看護職員同様に、有効求人倍率も2.6倍（看護師：約3倍）※と高く、現状の求人難は、今後さらに拡大するものと予想しております。

※出典：厚生労働省「職業安定業務統計」（2016年1月分、パートタイムを除く常用）

潜在介護士228万人※

国の政策

新3本の矢「介護離職ゼロ」に向けた介護人材確保策には、潜在介護人材の呼び戻しが掲げられ、再就職準備金貸付制度等の復職を後押しする為、平成27年度補正予算に盛り込まれる等、「官民一体」となった事業であると考えております。

※出典：(株)日本総合研究所「平成22年度 潜在ホームヘルパーの実態に関するアンケート調査研究」

3. 決算概要

2016年9月期業績概要

2016年9月期業績は、前年同期比で売上高28.0%増、営業利益58.5%増を達成 売上高

コールセンター業界の人手不足による需要の高まりを受けたアクティブシニア（55歳以上の働く意欲ある人）の活用提案の増加
首都圏を中心としたビルメンテナンス（清掃・マンション管理）の増加
訪日外国人旅行者の増加に伴うホテル稼働率の上昇によるベッドメイキングの増加

介護士派遣の稼働人数が看護師派遣の稼働人数を超えるほどの急成長
新規出店（立川支店・京都支店・三重支店）や移転（奈良支店）による機動的な営業エリアの拡大

営業利益

事業規模拡大に伴う本部費用の比率低下や知名度向上に伴う自社求人WEBサイトからのスタッフ登録が増加したことによる
広告比率の低下で営業利益率は5.6%と前年同期比1.1%改善

経常利益

営業外収益の助成金収入の減少や営業外費用として上場関連費用の計上により経常利益率の伸びは営業利益率と比べ縮小

(単位：百万円、%)

	2015年9月期		2016年9月期							
	実績		予想		実績		前年比		予想比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	増減額	前年比	増減額	予想比
売上高	5,795	100.0	7,397	100.0	7,415	100.0	1,620	128.0	18	100.2
営業利益	263	4.5	404	5.5	417	5.6	154	158.5	13	103.3
経常利益	293	5.1	400	5.4	417	5.6	124	142.5	17	104.4
当期純利益	192	3.3	246	3.3	263	3.6	71	137.1	17	107.1

3. 決算概要

業績推移

3期連続増収増益を達成。



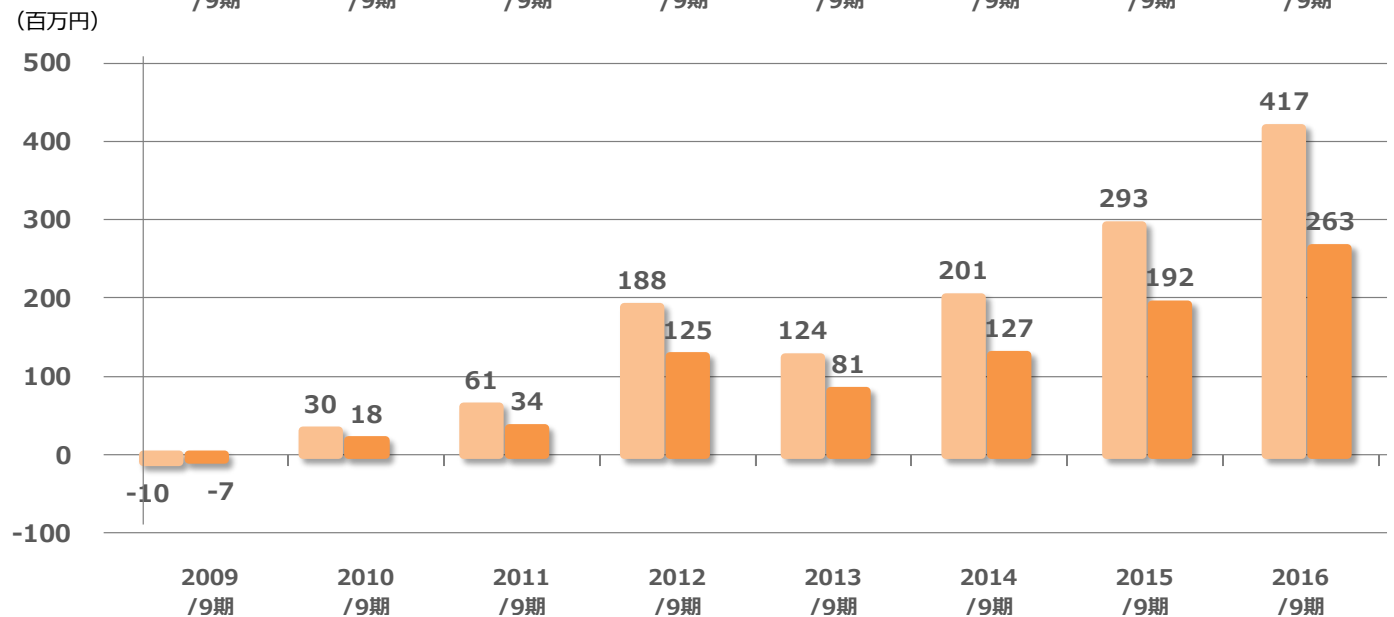
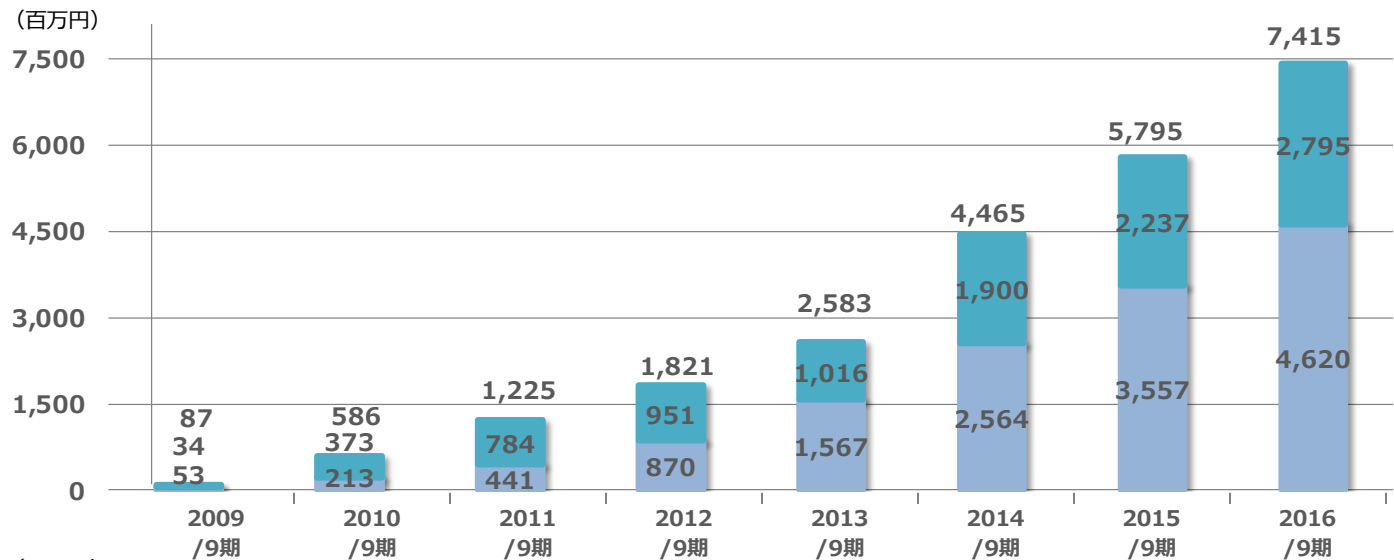
売上推移

- シニアワーク売上
- シニアケア売上



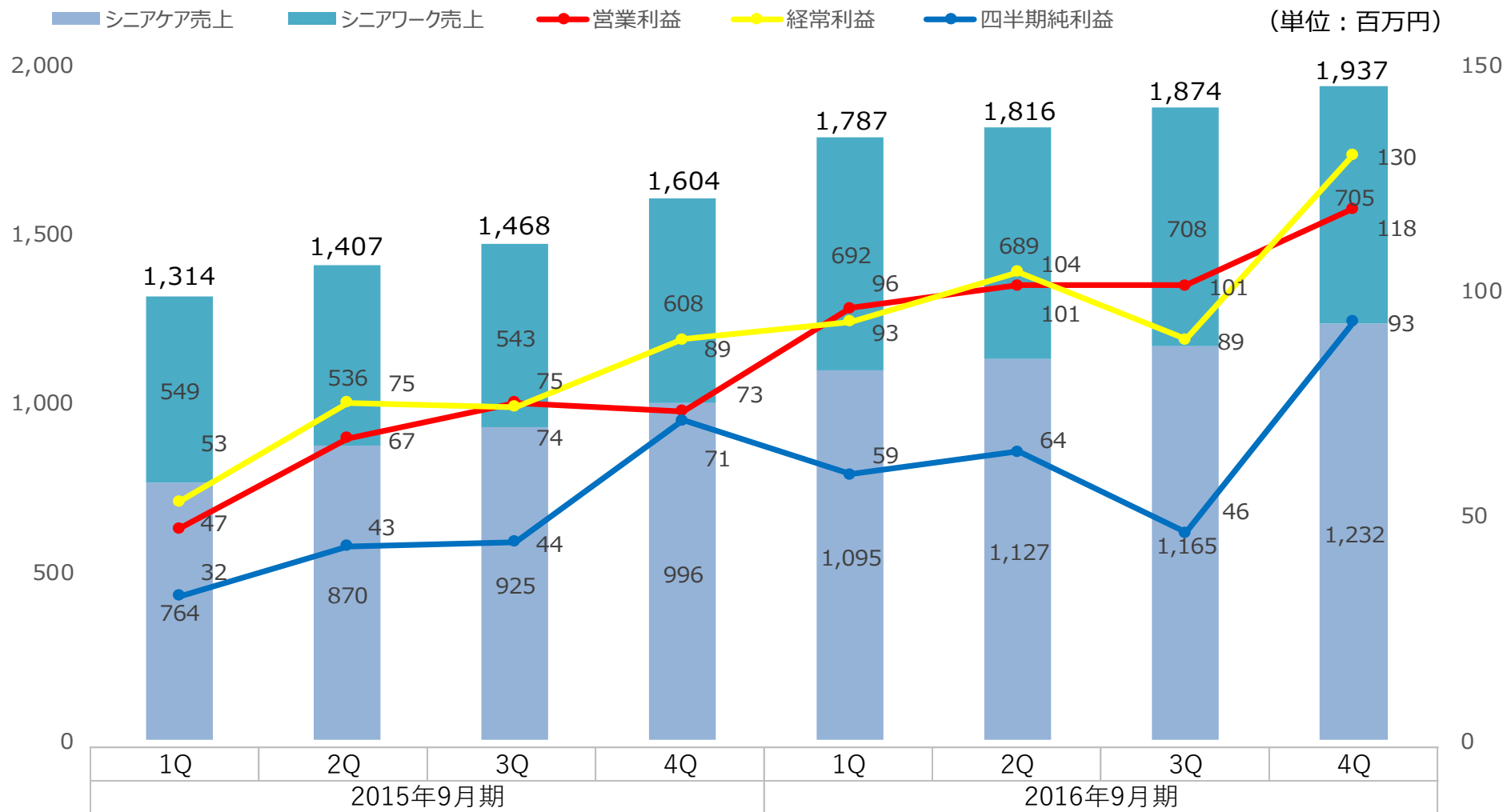
利益推移

- 経常利益
- 当期純利益



3. 決算概要

事業別売上推移



2. 決算概要

損益計算書

(単位：百万円、%)

	2015年9月期		2016年9月期				増減要因
	実績		実績		前年比		
	金額	売上高比	金額	売上高比	前年比	増減額	
売上高	5,795	100.0	7,415	100.0	128.0	+1,620	
シニアワーク事業	2,237	38.6	2,795	37.7	124.9	+557	既存事業の堅調な拡大
シニアケア事業	3,557	61.4	4,620	62.3	129.9	+1,062	介護士派遣の伸長
売上原価	4,369	75.4	5,644	76.1	129.2	+1,274	
売上総利益	1,425	24.6	1,771	23.9	124.2	+345	
販売費及び一般管理費	1,162	20.1	1,353	18.3	116.5	+191	
人件費	602	10.4	753	10.2	125.2	+151	事業規模の拡大に伴うもの
地代家賃	114	2.0	132	1.8	115.3	+17	
広告宣伝費	146	2.5	165	2.2	113.0	+18	
その他	299	5.2	302	4.1	101.1	+3	
営業利益	263	4.5	417	5.6	158.5	+154	
営業外損益	29	0.5	0	0.0	0.0	△29	助成金収入の減少と上場関連費用の計上
経常利益	293	5.1	417	5.6	142.5	+124	
特別損益	△3	△0.1	-	-	-	+3	
税引前当期純利益	289	5.0	417	5.6	144.3	+128	
当期純利益	192	3.3	263	3.6	137.1	+71	

2. 決算概要

貸借対照表

(単位：百万円、%)

	2015年9月期		2016年9月期			増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	1,429	87.0	1,767	89.4	+338	
現金及び預金	716	43.6	941	47.6	+225	当期純利益の計上によるもの
売掛金	667	40.7	782	39.6	+115	売上高の増加に伴うもの
その他	45	2.8	43	2.2	△2	
固定資産	212	13.0	209	10.6	△3	
有形固定資産	59	3.6	54	2.8	△4	
無形固定資産	25	1.6	18	1.0	△6	
投資その他の資産	127	7.8	135	6.9	+7	
資産合計	1,642	100.0	1,977	100.0	+335	
流動負債	856	52.2	858	43.4	+2	
1年内返済予定の長期借入金	154	9.4	70	3.5	△84	
その他	702	42.8	788	39.9	+86	
固定負債	262	16.0	95	4.8	△167	
長期借入金	225	13.7	53	2.7	△171	調達資金による借入返済106百万
その他	37	2.3	41	2.1	+4	
負債合計	1,119	68.2	954	48.3	△165	
資本金	20	1.2	154	7.8	+134	IPOに伴う新株発行によるもの
資本剰余金	-	-	134	6.8	+134	IPOに伴う新株発行によるもの
利益剰余金	502	30.6	734	37.1	+231	
純資産合計	522	31.8	1,023	51.7	+500	
負債純資産合計	1,642	100.0	1,977	100.0	+335	

2. 決算概要

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2015年9月期	2016年9月期		増減要因
	金額	金額	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	230	229	△1	
税引前当期純利益	289	417	+128	
減価償却費	21	21	0	
売上債権の増減額	△168	△115	+52	
未払費用の増減額	86	16	△70	
法人税等の支払額	△81	△123	△41	
その他	83	13	△70	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49	△11	+37	
有形固定資産の取得による支出	△19	△4	+14	
無形固定資産の取得による支出	△6	△1	+5	
差入保証金の差入による支出	△64	△6	+58	
その他	41	1	△40	
財務活動によるキャッシュ・フロー	97	7	△89	
長期借入金の借入による収入	350	-	△350	
長期借入金の返済による支出	△252	△256	△3	
株式の発行による収入	-	263	+263	IPOに伴う公募増資によるもの
現金及び現金同等物の増加額	279	225	△53	
現金及び現金同等物の期末残高	716	941	+225	

4. 業績予想

2017年9月期業績予想

2017年9月期通期業績は、売上高24.2%増、営業利益30.0%増を予想

(単位：百万円、%)

	2016年9月期		2017年9月期		
	当期実績		通期予想		
	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比
売上高	7,415	100.0	9,207	100.0	124.2
営業利益	417	5.6	542	5.9	130.0
経常利益	417	5.6	550	6.0	131.9
当期純利益	263	3.6	345	3.7	131.2

5. 当期の施策

シニアによるオフィスワーク分野の拡大

「働き方改革」の推進によってこぼれる残業時間を、
新サービス、「ソーシング・モーニング」が請け負います。

新しい働き方で、アクティブシニア
の就労機会を創出。
朝型ライフスタイルの特性を活用。



ソーシング・
モーニング

定時

残業

定時以降の残業から、ソーシング・モーニングへ

クライアントにおける
36協定遵守、割増賃金の削減。

民間でも自社による業務効率化を進める傾向だが、
残業ゼロの実現は困難と予想。
大・中堅企業を中心にソーシング・モーニングの活用を推進。

6. 株主還元

配当について

当社は、株主様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、経営成績及び財政状態並びに内部留保とのバランスを勘案した結果、当期の期末配当につきまして、1株当たり15円の普通配当を実施いたします。

株主優待について

平成28年9月30日現在の当社株式名簿に記載された、当社株式100株以上を保有される株主様を対象に健康食品関連ギフト5,000円相当を株主優待として贈呈させていただきます。

なお、平成29年9月期以降の株主優待につきましては、実施内容を検討中となります。



本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

また2015年9月期3Q以前のデータは、弊社内部管理数字となります。

【IRに関するお問合せ先】

株式会社キャリア 社長室 IR担当

〒163-0240 東京都新宿区西新宿二丁目6番1号 新宿住友ビル40階

TEL 03-5909-0482 FAX 03-6869-3136

E-mail : ir@careergift.co.jp